



■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 障子の外れ・落下防止のため、下記事項を厳守してください。
 - ・障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。
- 障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
 - ・障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
 - ・縦枠下部のブチルリキエ紙を必ずはがしてください。
 - ・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

■組立て上へのお願い

- 必ず指定のねじで組立ててください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書及び外枠取付け用・額縁取付け用部品セットは、必ず施工される方にお渡しください。
- 枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず施工される方に障子建込み用部品セットをお渡しください。
- ガラス寸法はダンボールまたはカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 連窓・段窓する際は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
- 専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
- バランス部品箱は別売りです。

■部品・ねじ一覧表

※本文図中の㊦～㊱は、部品・ねじの種類を示します。

外枠組立て用	障子組立て用		障子建込み用			
㊦	㊧	㊨	㊩	㊰	㊱	㊲
バインドタッピンねじ φ4×30	バインドタッピンねじ φ4×25	ピボット	トラス小ねじ M4×6	アームスライダー	トラス小ねじ M4×6 (上枠カバー材と同等色)	障子ストッパー

■バランス部品箱(別売り)一覧表

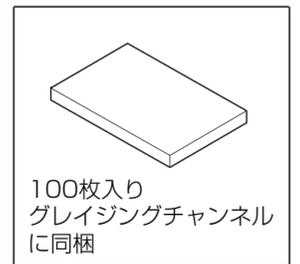
バランス取付け用	
㊳	㊴
バインド小ねじ M4×10	バランス

■別売り部品

●グレイジングチャンネル

種類	ガラス厚18~20mm用			ガラス厚21~22mm用	
	18mm	19mm	20mm	21mm	22mm
グレイジングチャンネル		1枚ハクリしてご使用ください。 	2枚ハクリしてご使用ください。 		1枚ハクリしてご使用ください。
		室外側 室内側		室外側 室内側	

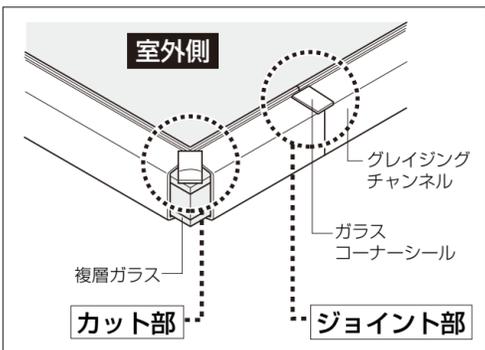
●ガラスコーナースील



■組立て順序

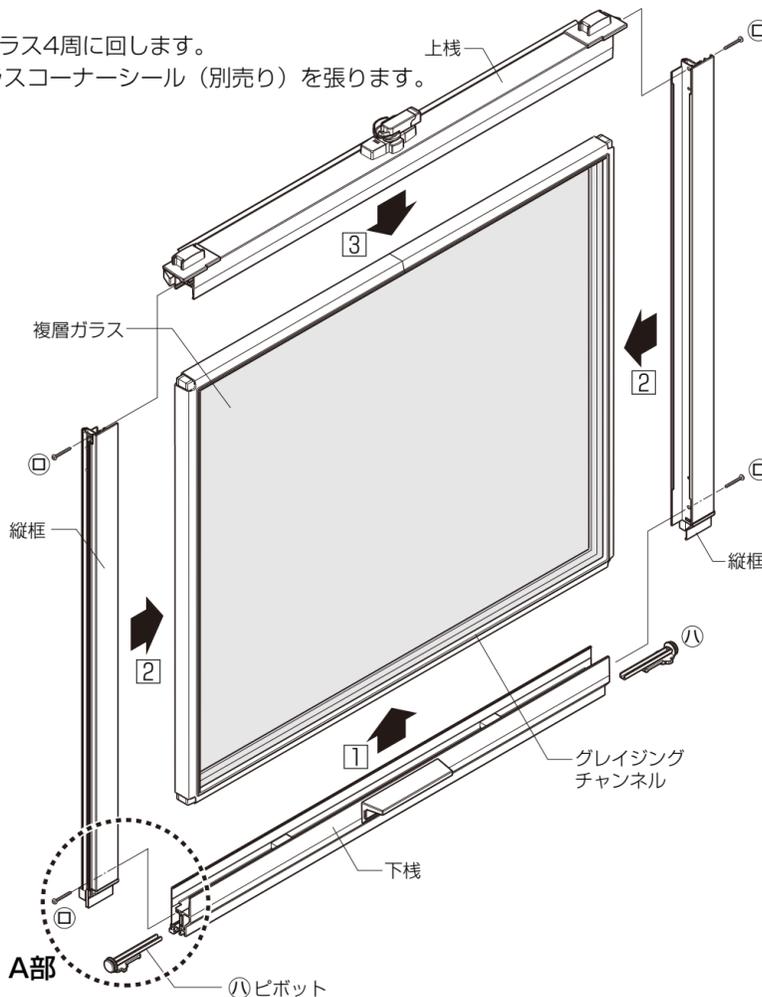
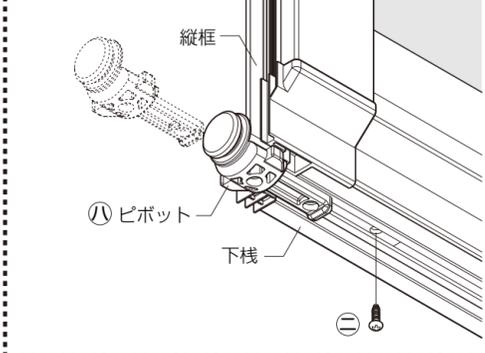
1 障子の組立て

- ①ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル(別売り)を、ガラス4周に回します。
 - ②ガラス室外側の4隅のカット部およびジョイント部に、ガラスコーナースील(別売り)を張ります。
- ※高断熱・高気密住宅の場合、必ず実施してください。



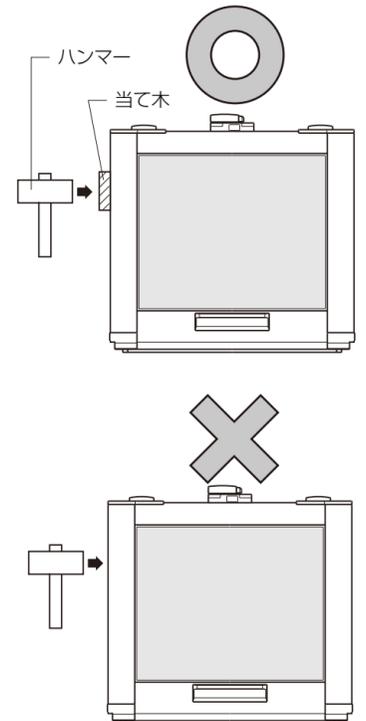
- ③ガラスコーナースीलを室外側にして、①下棧、②縦框、③上棧の順にガラスに差込み、ねじで固定します。
- ④下棧にピボットを奥まで差込み、ねじ止めします。

■A部詳細図



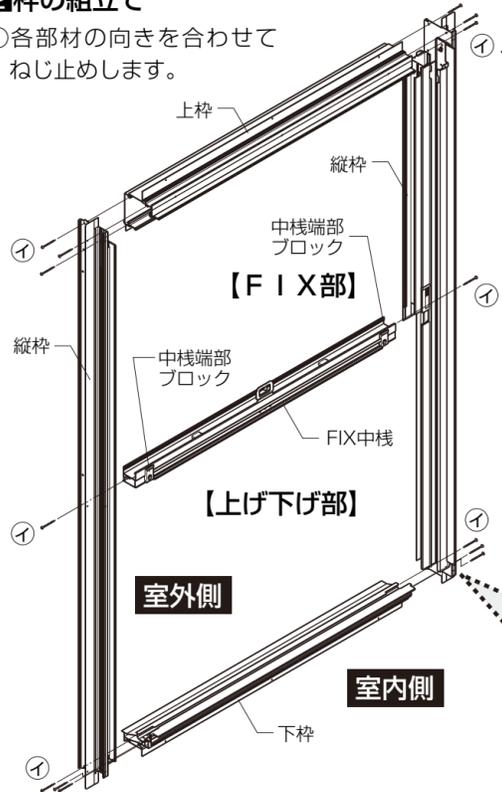
お願い

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



2 枠の組立て

① 各部材の向きを合わせてねじ止めします。

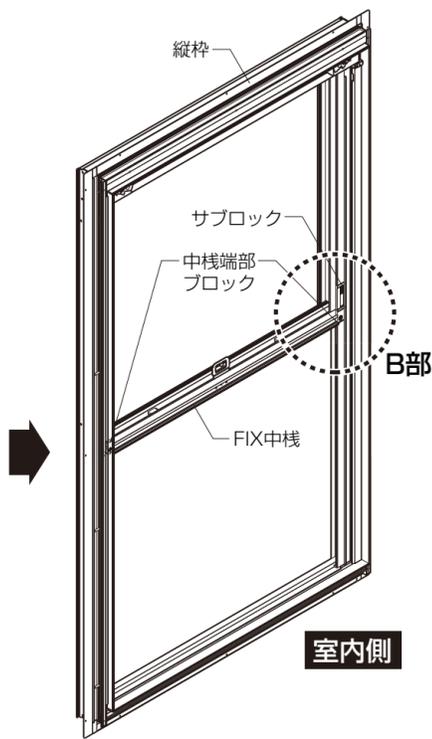
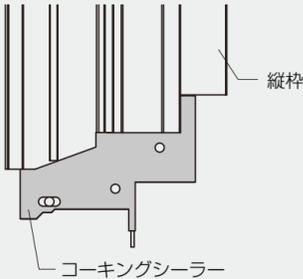


▲注意

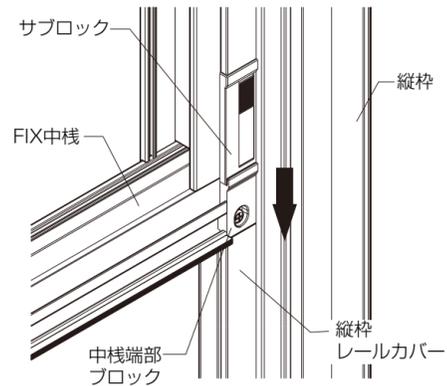
● ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ $\{25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}\}$ のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

▲注意

● コーキングシーラーが、下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めしてください。
● ねじ止め後、緩み・がたつきのないことを確認してください。



■B部詳細図

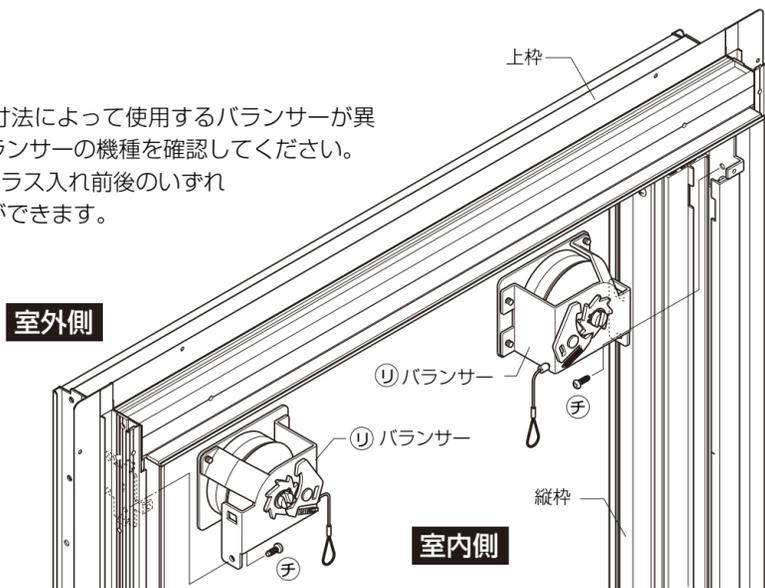


※ 縦枠のレールカバーと中棧端部ブロックの間にすきまがある場合は、ねじを緩めて、中棧端部ブロックを下に下げてください。

3 バランサーの取付け

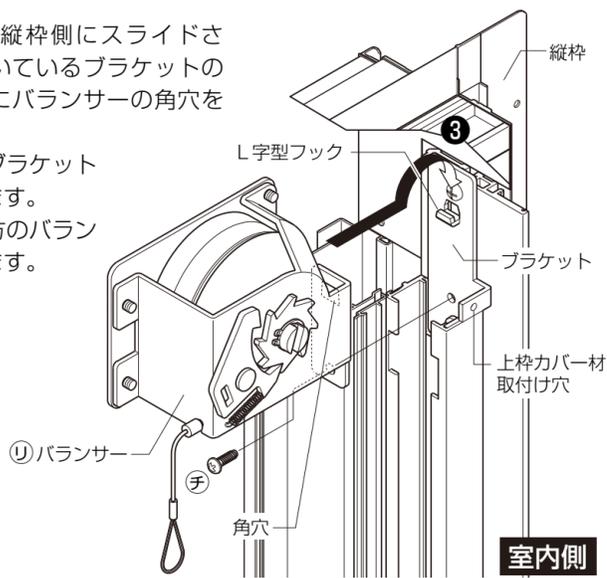
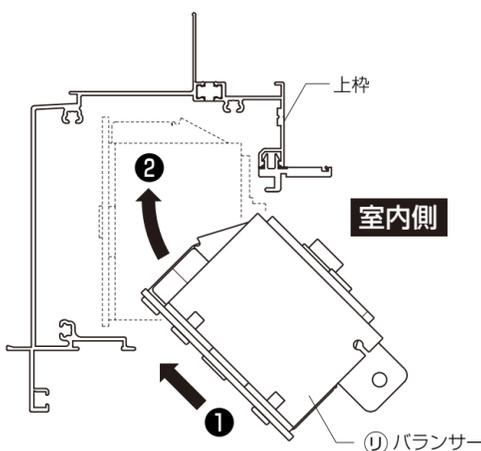
※ ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバランサーが異なります。取付け前にバランサーの機種を確認してください。

※ バランサーは、FIX部のガラス入れ前後のいずれでも縦枠に取付けることができます。



① バランサーを45°傾けて、上枠に差込みます。
② バランサーの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。

③ バランサーを縦枠側にスライドさせ、縦枠についているブラケットのL字型フックにバランサーの角穴を引っ掛けます。
④ バランサーをブラケットにねじ止めします。
⑤ 同様にもう一方のバランサーを取付けます。

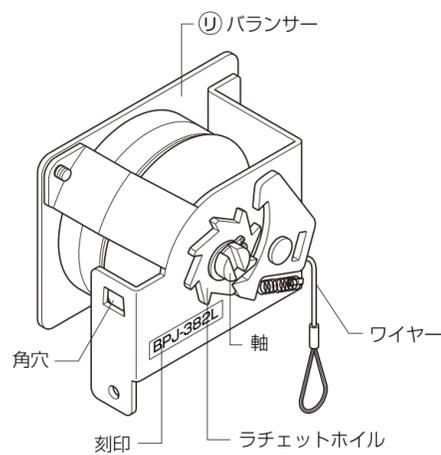


お願い

※ 障子建込み前にバランサーのワイヤーを引き出したり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。

障子が建込めなくなったり、バランサーが破損したりすることがあります。

※ バランサーの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L (内観左)・R (内観右)を確認してください。

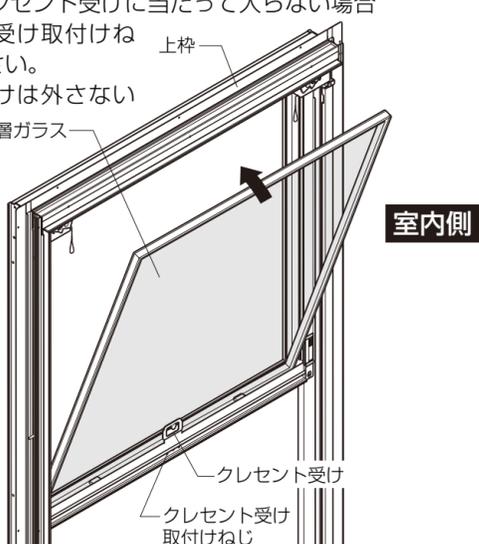


4 FIX部のガラス入れ

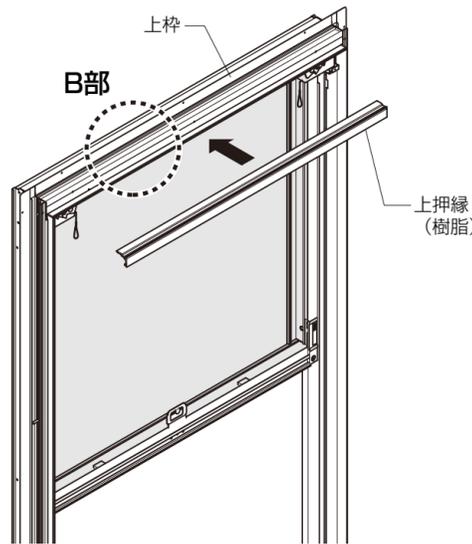
※ 面格子付上げ下げ窓 (SH) の場合は、ガラスを入れる前に面格子の取付けを行ってください。

① ガラスを入れます。

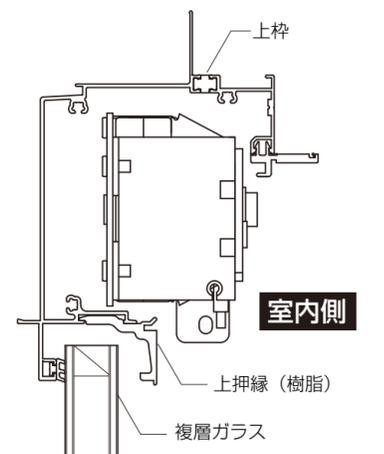
※ ガラスが厚くクレセント受けに当たって入らない場合は、クレセント受け取付けねじを緩めてください。(クレセント受けは外さないでください。) 複層ガラス



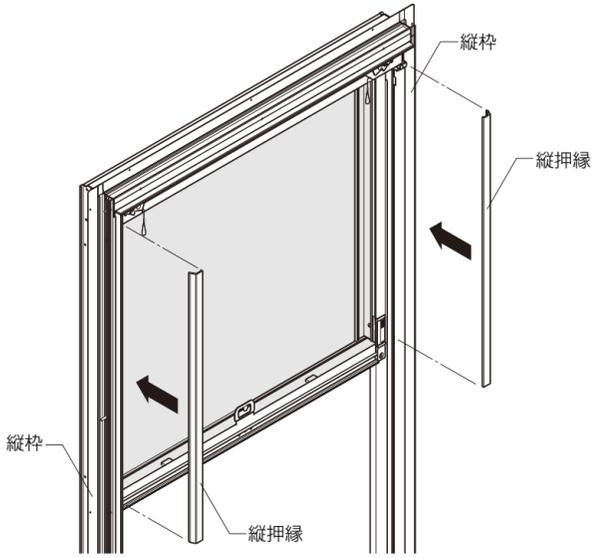
② 上押縁を取付けます。



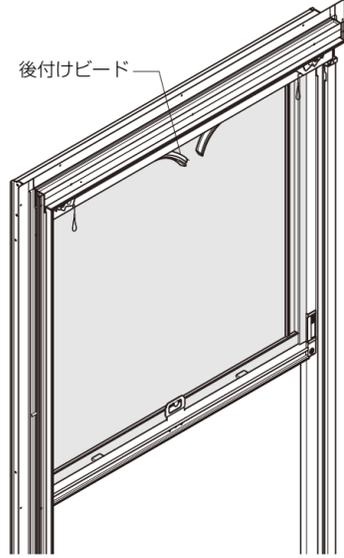
■B部詳細図



③縦押縁を取付けます。

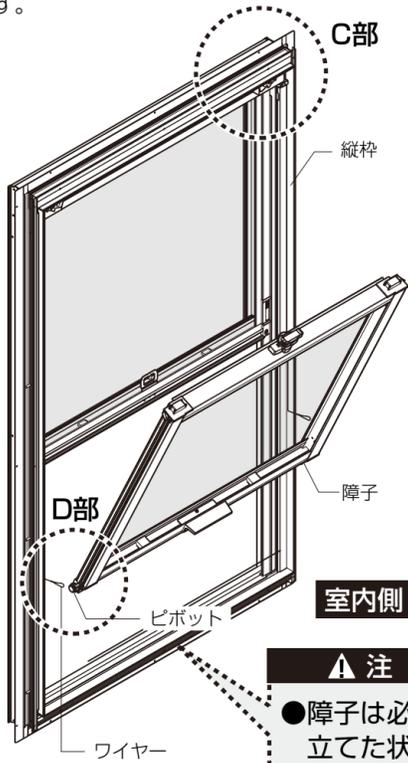


④後付けビード（別売り）を回します。



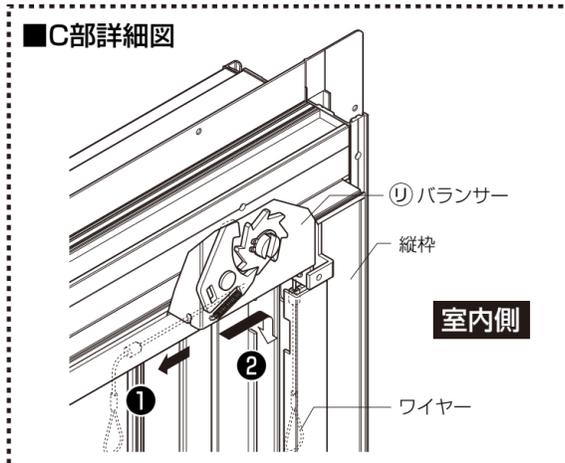
5 障子の建込み

- ① バランサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。
- ② ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。

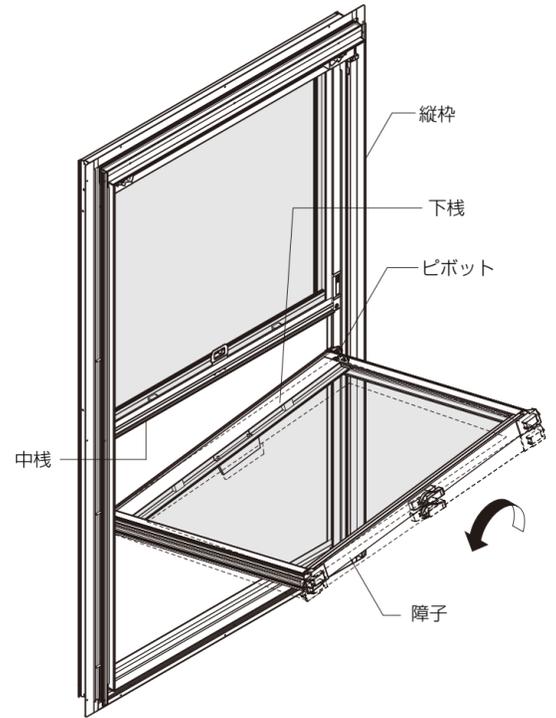


▲ 注意
● 障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。

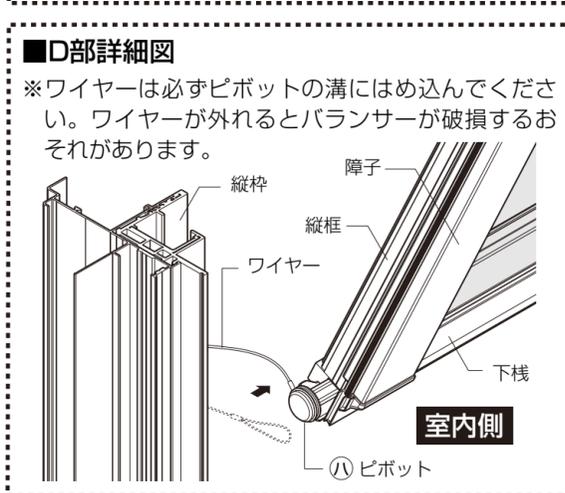
■ C部詳細図



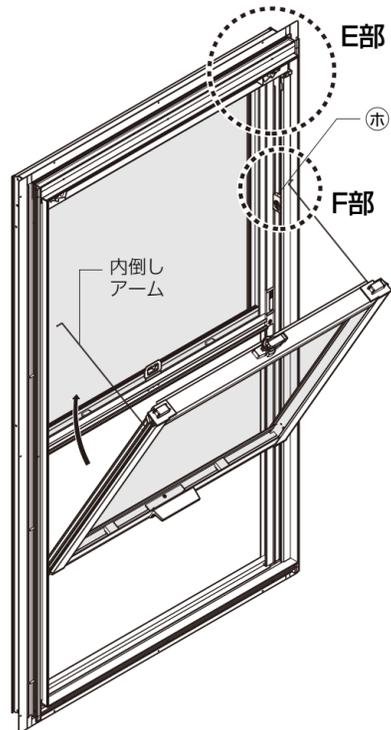
③ 障子の下棧を中棧より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差込みます。



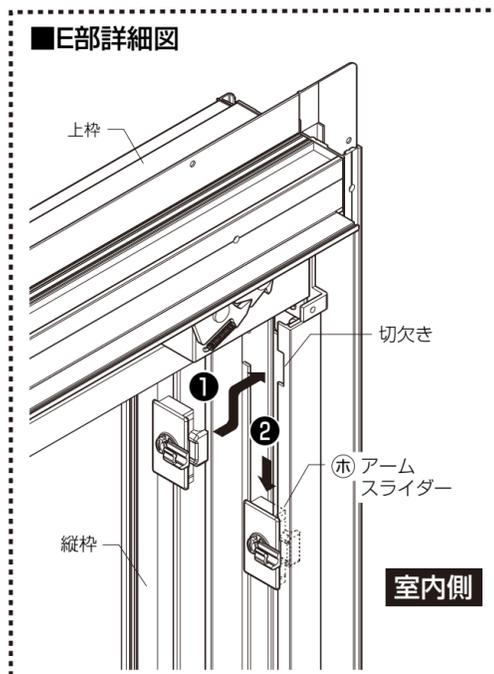
■ D部詳細図



- ④ アームスライダーを縦枠の切欠きから差込みます。
※H907未満には内倒しアームがついていないので、アームスライダーは使用しません。
- ⑤ アームスライダーに内倒しアームを固定します。



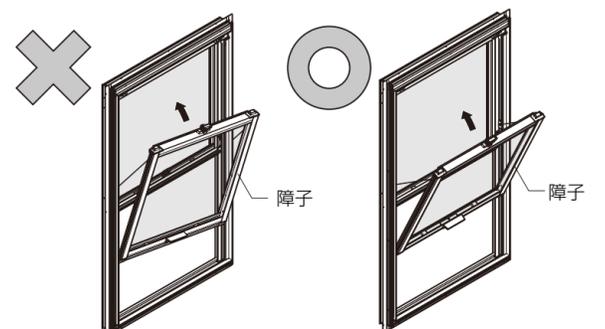
■ E部詳細図



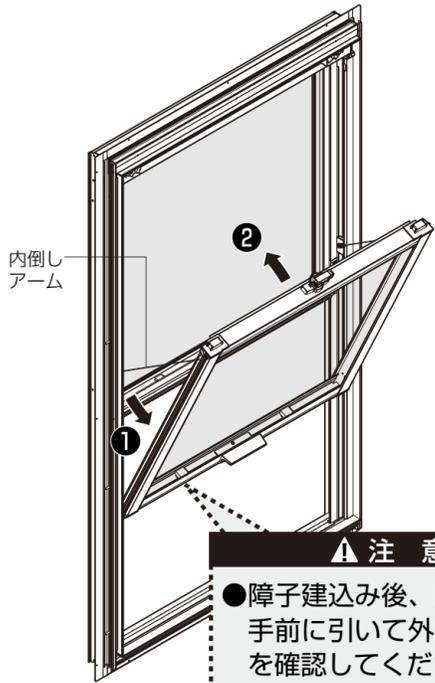
■ F部詳細図



※障子は必ず水平にして、内倒し状態から起こしてください。障子を傾いた状態で起こすと、部品が破損することがあります。



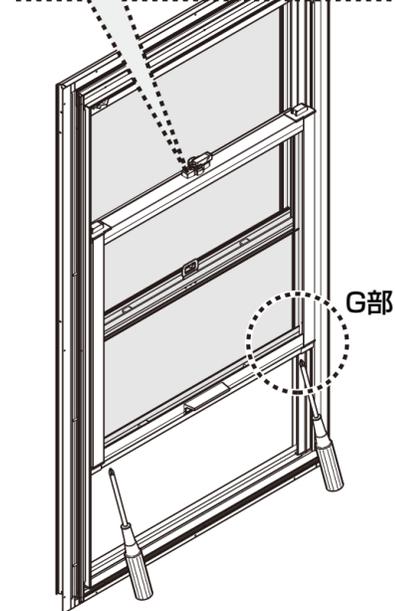
⑥内倒しアームを押し下げながら (1) 障子を起こし、「カチッ」という音がするまで室外方向に押付けます。(2)



▲注意
●障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。

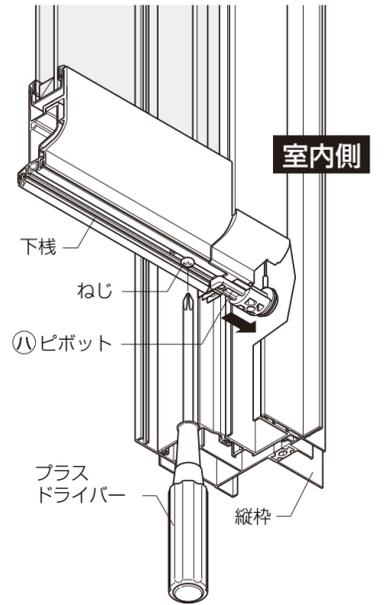
⑦ピボットのねじ位置を調整します。

▲注意
●障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。



■G部詳細図

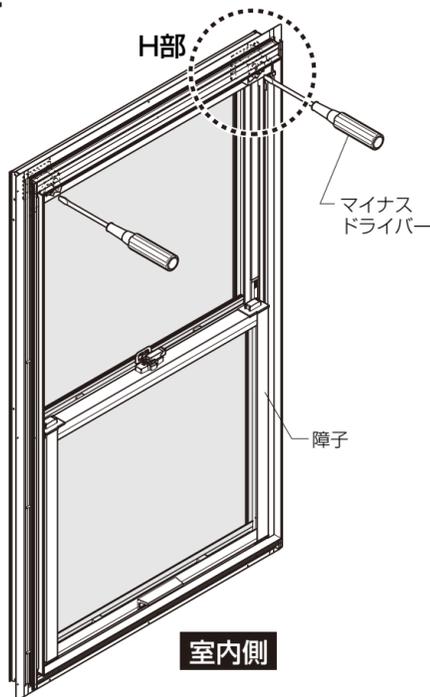
- ①ピボットが左右に動く程度にねじを緩めます。
 - ②ピボットを縦枠側にずらしてねじを締めます。
 - ③左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。
- ※まったくガタがないと施工状態によっては開閉が重くなる場合があります。



6 バランサーの調整

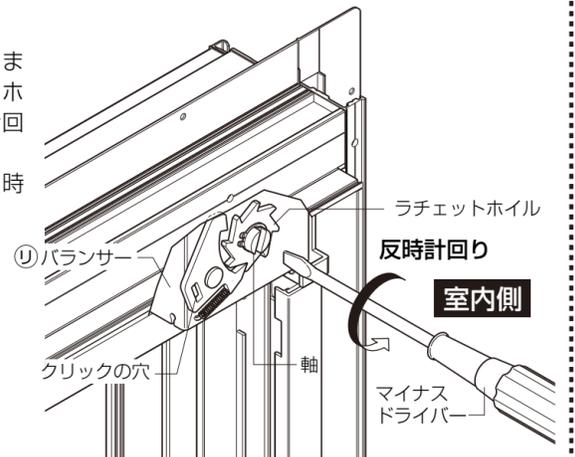
※バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。

- ①障子を一番下に下げます。
 - ②障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差込んで回し、戻してください。



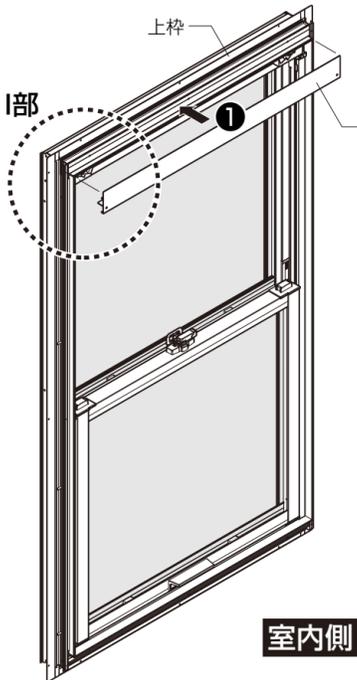
■H部詳細図

- ※図はR (内観右) を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。
- ※L (内観左) は逆回転 (時計回り) です。



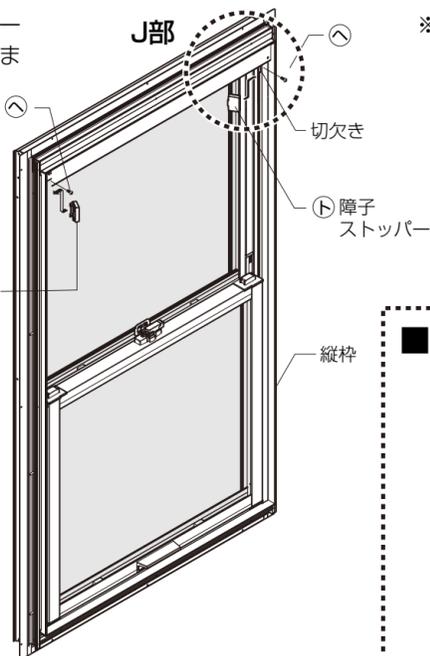
7 上枠カバー材の取付け

- ①上枠カバー材を上押縁の溝に押当てます。(1)
- ※左右の角度を傷付けないようにしてください。
- ②矢印部を押し、上枠カバー材をたわませながら (2) 上枠の溝にはめ込みます。



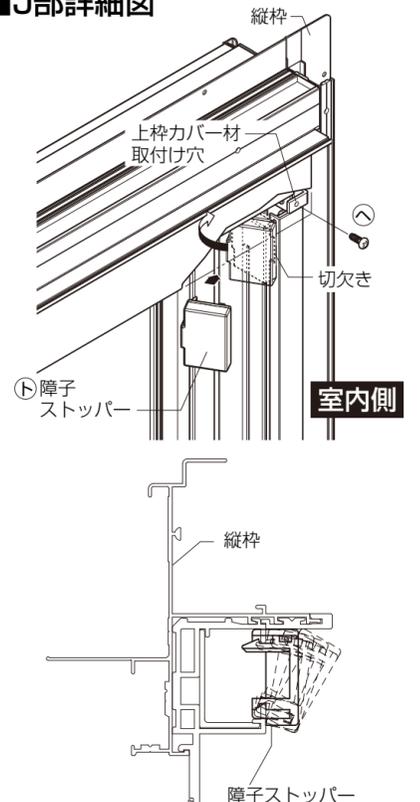
室内側

- ③上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。
- ④障子ストッパーを縦枠の切欠きに室内側よりひっかけ、「パチン」と音がするまで押付けます。



※障子ストッパーを外す場合、図の方向と逆に室外側より回転させて外してください。

■J部詳細図



■I部詳細図

※上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、図のように上枠カバー材をたわませて外してください。

